

寺だより 極楽寺

暑中御見舞申し上げます 平成19年お盆号

「ご先祖さまお帰りなさい」全国のお家からそんな声が聞こえてくる季節になりました。御尊家皆様には、ご健勝にてご活躍何によりとお喜び申し上げます。

さて、お盆の行事。各家におまつりした精霊棚に、ご先祖さまが極楽浄土からお帰りになられます。ふるさとで過ごすお盆には、家族が集まって来ます。皆同じご先祖さまを持っています。そしてその家族の家に大勢のご先祖さまが帰って参ります。過去の命と今の命がそこでひとときいっしょに暮らすことになるのです。手を合わせてお念佛を称えまじう

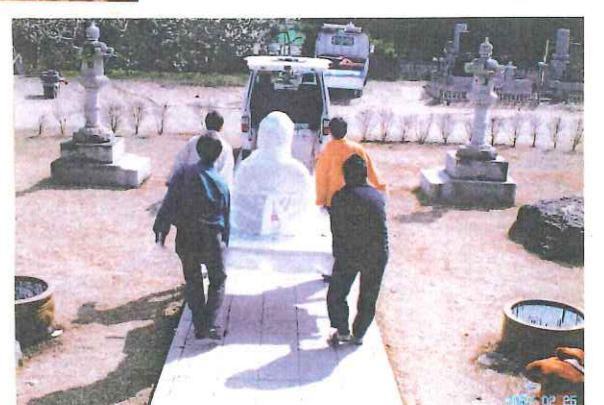
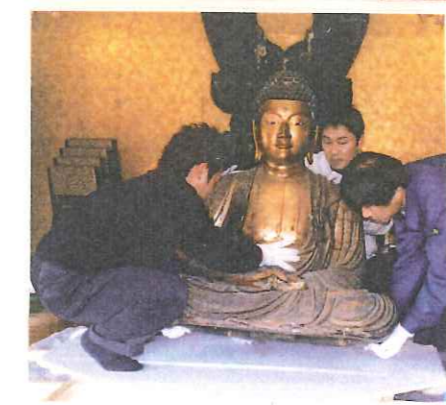
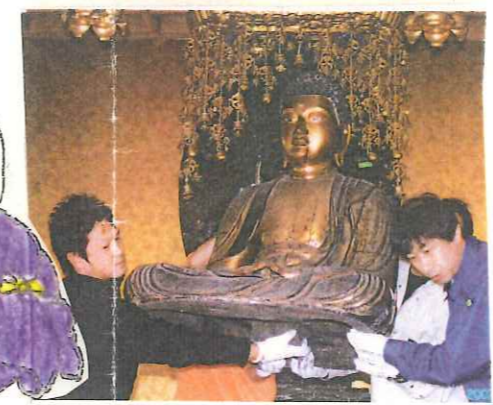
「^い称うれば ^こここに居ながら極楽の ^し聖衆の ^か数に入るぞ ^た嬉しき」(元祖法然上人)



去る2月25日(日)本尊様大修理のため御遷座(仏像をお移りする)致しました時のご様子です。



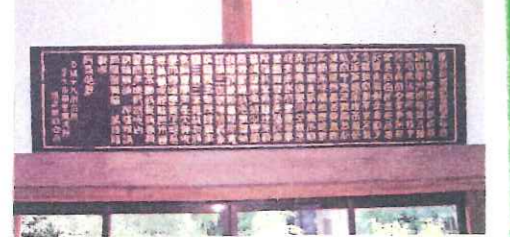
統代並びに世誥入各位、お檀家の皆様に見守られながら無事見送りさせていただきました。初春頃には、きれいになられたご本尊様がお帰りなさいます予定でございます。



本堂改修工事に伴う寄附勧募について御礼と御願い

一昨年5月以来 檀信徒の皆様には、本堂改修工事に伴う寄附勧募の御願いを申し上げましたところ、多くの檀信徒の皆様から深い御理解をいただき、尊い御浄財を賜りましたこと、有難く篤く御礼申し上げます。この寄附勧募は、今年4月末日をもちまして、一応×切り、当山御本尊の阿弥陀佛様の御座します本堂の改修工事に伴う寄附勧募でありますので、更に多くの檀信徒の皆様御協力を仰ぎたいと考え、今年末まで勧募期間を延長することに、過日の総代会において決定させていただきました。皆様には、寄附勧募の趣旨に深い御理解を賜り、御寄附下さるよう切にお願ひ申し上げます。なお本堂の落慶法要を来年5月頃行う予定であります。初折に本堂改修に伴う事業報告並びに会計報告をさせていただきます。

特志 御寄贈ご報告



(川下)吉田武判様より 極楽寺にふさわしい掛軸と刻字額を奉納を賜りました。篤く御礼申し上げます。

百万遍数珠玉 お陰様にて7月末日現在100名様のお申し込みがございました。今年のお十夜様(11月3日)には、皆様とごいっしょに初数珠りの念佛を称えながら厳修致します。まだまだ余裕がございます。念佛の尊いお申し込みお待ち申し上げます。(一玉5000円です)

故 田中東四郎聖位 の長男(顕勲)様より 父の御供養奉納と申しまして、絵画を御寄進賜りました。篤く御礼申し上げます。



オライの寺にお宝が増えました。

浄土宗教界通信社より 新聞取材がありました。

世話などでてんてこ舞い。先代の寛成氏は昨年遷化した。現任職の祖母伊藤タマさんが椎尾辨匡増上寺法主の五重を二度受け、東京の心法寺で椎尾法主の法話をよく聞いていた。その影響を受けて住職は学生時代、増上寺に入ります。五重開筵の思いを強くした。布教師養成講座では藤井實應元門主の教えを受け、自信を深めたという。そして住職を継承した時から寺族だけの五重相伝に踏み切った。「住職はやると言ったら、突き進む人だから行って行くしかない」とは二人の息子さんと夫人の声だが、三人とも結構張り切っていて、いやいややっているようには見えなかった。

千葉・極楽寺で 寺族だけの「五重」

浄土宗千葉教区東総組の極楽寺(伊藤慶成住職)では、平成十五年から隔年毎に住職を中心に、寺族だけで手作りの五重相伝を開筵している。今年三回目。一月十九日から二十五日まで開き、中日には布教師養成講座の縁で神奈川教区の成田光俊専福寺住職も見舞に駆けつけた。

受者は多い時は二十名近く、少ない時は十名に満たない。というのはサラリーマンもいて、土・日には一日中出れるが、普通の日は休暇を取る関係で出れない日もある。従って一回受けただけで伝巻をもらうことが難しい。今回は二十名のうち、八名の受者が伝巻を受けた。勸誠師は住職が勤め、長男の良成氏(三二歳)と次男の朋成氏(三〇歳)が回向師や法式の所用を分担して勤める。洋子夫人は食事の世話などでてんてこ舞い。